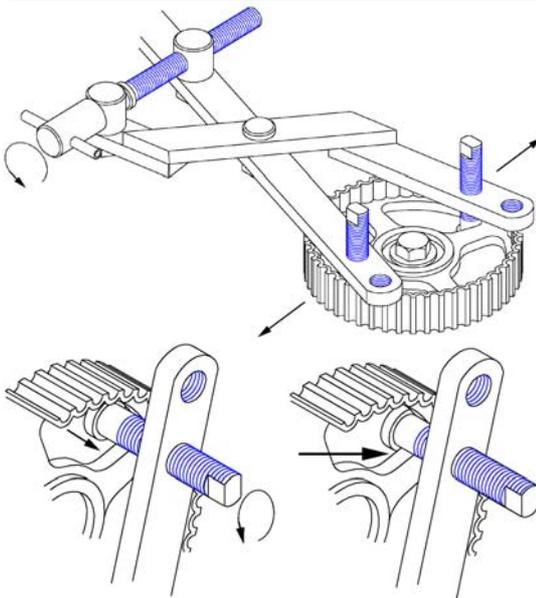
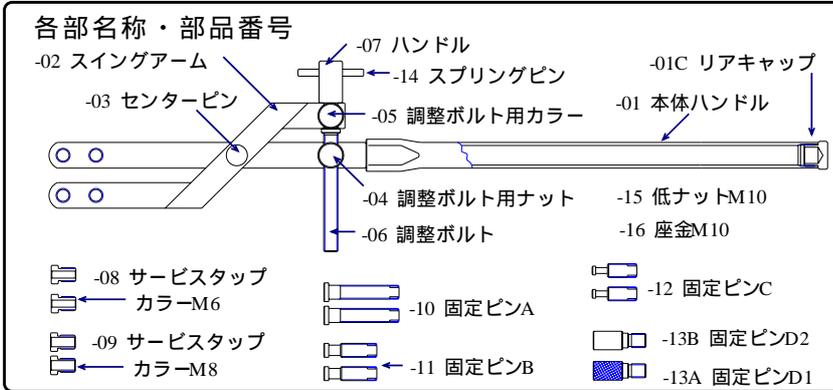


本ツールは、軽自動車～普通乗用車のエンジンに組み付けられている、カムシャフトプーリーの回転位置調整および簡易回転止め用ツールです。また、規定トルク以内で、クランクプーリーにも使用できます。ただし、高トルク（300N・m以上）でのクランクプーリー固定には、クランクプーリーホールドプレート：CP-93DX（CP-93H / ホンダ専用）またはフライホイールロックツール：CP-98JR をご使用下さい。正しくご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守して下さい。また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項、基準値、作業ポイントなどは、メーカー指示に従って作業して下さい。



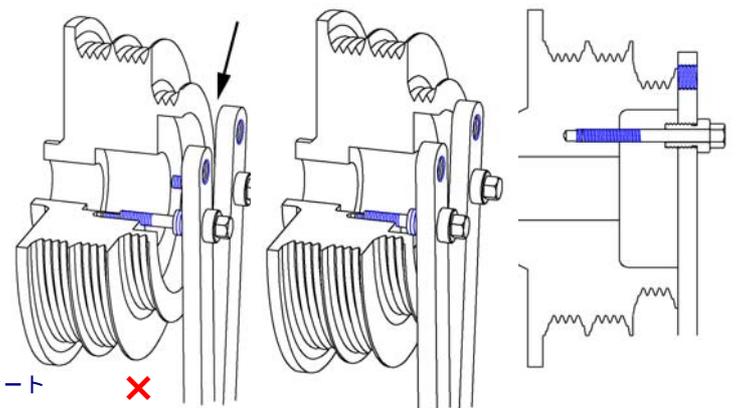
固定ピンを使用する作業では、ハンドルを調整して2本の固定ピンを外側（スペースなどの問題があれば内側でも可）に張り安定させます。その後、固定ピン先端の凸部が、プーリーの裏面に引っかかるように、固定ピンを左回転させてロックします。

プーリー固定ボルトを外す作業では、後でソケットが入らないように、固定ピンの位置を考えてセッティングしてください。または、あらかじめソケットをセットしておいてください。

<！> 何れの作業時も、プーリーの回転方向以外には、絶対に力を掛けないでください。

固定ピンD（汎用ピン）を使用して、ベルトの上に掛ける場合は、厚手のゴムシートなどでベルトを保護してください。ゴムは、トルクが掛かるとつぶれることを考慮し、プーリーのリム部にも注意しながら作業を行ってください。

ゴムシート



サービススタップを使用する作業では、ハンドルを調整して予め2カ所のタップ幅に開きを合わせます。上図のように、ボルトの長さが合わずしっかりと固定できない状態では、大きなトルクに耐えられません。右図のように、プーリーの前面にツールが密着するようセッティングしてください。したがって、本体先端側のガイド取付位置は使用しないでください。本ツールのトルク限界は 300N・m です。ハイパワーエンジンの、クランクプーリー固定ボルトを取り外す際の、回転止め作業には使用できません。

部品発注の際は、[CP-98EX]の後に、部品図に記載されている番号をご記入の上、本セットをご購入された販売店にお申し込みください。

この取扱い説明書は、作業時すぐ確認できる場所に保管して下さい。紛失された時は、販売店または当社営業所宛てご請求ください。

**<<<< 使用上の注意事項 >>>>**

- <！> タップカラー使用時の取付位置は、本体先端側を使用しないでください。
- <！> サービススタップを使用する場合は、8T以上の硬質ボルトを使用してください。高トルクが掛かると、ボルトが曲がりタップカラーが変形して外れなくなることがあります。別売りでボルトセットも用意しております。（CP-93DX-OP）
- <！> クランクプーリーなどの回り止めに使用の際は、最大トルク 300N・m を限度としてください。パイプで延長したり、オーバートルクで使用すると、本体が曲がりツールが破損します。
- <！> プーリーの肉厚が薄い場所や、材質が弱い場所に使用すると、プーリーを傷めます。リム付きプーリーは、特に注意してください。

**<<<< 基本使用方法 >>>>**

固定ピンまたはタップカラーは、プーリーの形状に合わせて、サイズおよび用途に合ったものに差し替えて下さい。取付位置は、本体の先端側ではなく、ひとつ手前の取付ネジに差します。本体プレートがプーリーの前面に密着するようセッティングが、最も安定した作業を可能にします。スペースの問題および固定ピンD（汎用ピン）使用時のみ、先端側に取り付けてください。他、個別説明図を参考に、最も安定した状態で作業を行ってください。